

ここは、既習経験をどう生かしているかが最大のカギとなり、筋道立てて考える力を育てるための、大切な段階である。解決の計画が自分で立てられる児童を育成していくために、

○図式化してみる

○置き換えてみる

○類推してみる

などの方法を、繰り返し身につくまで指導した。

なお、ここでは時間を十分に保障して思考させ、一斉指導よりも個別指導に重点をおいた。個々の活動状況を把握するための机間指導も不可欠な段階である。

③ 教師用の学習計画

単元学習を進めるにあたって、教師サイドでも、ある程度詳しい計画を持っていることが必要である。ここで特におさえておかなければならないことは、目標、基礎基本となるもの、自己学習能力を育てる手だて、育てたい態度などであろう。(資料3)

(三) ドウー(解決の実行)のさせかた

① 自力解決と集団思考による学習の深化 (省略)

② つまずき解消のための補説の場の設定

授業は、指導―反応―評価という一連のサイクルの中で行われるが、指導案の中にも反応に基づいた適切な指導の方法を考え、位置づけておかなければならない。児童がどのように反応す

資料3 教師用の学習計画例

小単元	日 標	時間	基礎的な知識・技能	学び方を育てる手だて(機器活用)	育てたい態度
小 数 で わ る 計 算 (1)	○除数が小数の時でも整数の時と同様に除法の式が用いられることがわかる。	1	○小数でわることの意味がわかる。(等分除)	○÷整数の意味との比較 ○×小数 ○数値線による説明…T P U ○反応分析…A N	○形式が同じなら整数の時と同じ考え方や方法が使えそうだと考え、わり算を÷(小数)の場合にも拡張しようとする。
	○整数÷小数の計算も、小数を整数におきかえると、整数のわり算と同じ方法で計算できることがわかる。	1	○数量が小数のときの単価が求められる。 ○被除数、除数を10倍すると商が求められることがわかる。	○÷整数のしかたとの比較 ○×小数 ○テープ図による補説…T P ○反応分析、進行度合確認…A N	○単位の考えや十進数のしくみを基にして、小数のわり算を既習の形に変えて計算しようとする。
	○整数÷小数の計算の考え方が小数÷小数の計算でも適用できることを知り、計算のしかたを説明できる。	1	○小数でわることの意味がわかる。(包含除) ○被除数、除数を10倍すると商が求められることがわかる。	○÷整数との比較 ○÷小数(等分除)との比較 ○小数×小数との比較 ○テープ図による補説…T P ○反応分析…A N	○数値線やことばの式を用いて、(小数)÷(小数)が成り立つことを説明しようとする。 ○÷(小数)の計算原理を積極的にまとめてみようとする。
	○整数÷小数や小数÷小数の計算を筆算の形でできる。	1	○小数でわる計算の方法がわかる。 ○小数でわる計算を筆算でできる。	○前時1.8)12.6との比較 ○メリ数の筆算との比較 ○反応分析、進行度合確認…A N	○÷(小数)の計算原理から、筆算の形で計算する方法を見つけ、いろいろの計算に用いようとする。
	○小数のわり算で、わる数が純小数であるとき、商はわられる数よりも大きくなることがわかる。	1	○純小数でわると、商はわられる数より大きくなることをわかる。	○被乗数、乗数、積の関係との比較 ○数値線による説明…T P U T P ○反応分析…A N	○降数が1より小さいと商は被除数より大きくなることを数直線等で説明しようとする。 ○商と被除数との関係をまとめようとする。

るかをできる限り予想し、更には、どのように考えてそのように反応したかという、根拠をも予想しておくことが必要である。反応の中には、「わからない」「できない」というものも必ずあることを考えて設定しておくこと。このようなマイナスの反応に対して、補説の場を設定し、適切な治療を加えることが重要になってくる。(資料4)

④ シー(自己評価)のさせかた

① 一単元における自己評価

一単元内における自己評価の場の一つは、教科書に見られる、いわゆる「練習」とか「まとめ」とかにおいてである。ここで児童は、何ができ何ができなかったのか、今度するときはどこをどう工夫したらよいか、これからの学習に生かすことはないか、などを確かめる作業をする。

また、事前テストと比較して考察を加えながら、学習の効果を確かめるための事後テストにおいても、自己反省のよい機会を与えてくれる。児童にとっては、単元の自己評価の資料となるが、教師にとっても、指導したことの効果確認、反省の場であり、今後の指導目標立案のもとになるものである。

(資料は省略)

最後に、単元をふり返つての感想を書かせる。学習計画の時点(学習前)と比べて、学習後とはどのような変化があったのかをふり返らせてみる。すなわち、